

今月のトピックス

10月27日～29日、リハビリテーション・ケア合同研究大会が熊本にて行われました。当院からは8名参加、5名の研究成果を発表させていただきました。研究大会の参加を活かし、医療福祉制度の変わる中で、回復期病棟の役割を地域へどのようにつなげていくか「再考」していきたいと思えます。

リハビリテーション・ケア合同研究大会 くまもと2011

平成23年10月27日(木)・28日(金)・29日(土)
ホテル日航熊本、熊本県民交流館パレア、鶴屋ホール

発表演題

服薬事故減少への取り組み ～内服薬管理評価ツールを使用して～
看護師 伊藤聡美(スライド)

時間はかかったけど、ごはんが食べられるようになったよ
～回復期から維持期への連携の成果～
言語聴覚士 中村真実(スライド)

当院大腿骨頸部骨折患者における在宅改修実施ケースの分析
理学療法士 戸田恵美子(スライド)

COPMを通してみえてきた性別による傾向とQOL
作業療法士 山中悠子(スライド)

低エネルギー食療法高齢患者に対して分岐鎖アミノ酸高配合飲料により
体脂肪量減少が認められた一例
管理栄養士 渡辺小夜子(ポスター)

